

バイオプラスチック導入目標集

①バイオプラスチック（製品）製造・販売目標

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	飲料	アサヒ飲料株式会社	プラスチック製容器包装（PETボトル、ラベル、キャップ、プラスチックボトル）	植物由来の環境配慮素材（バイオマスプラスチックを含む）、リサイクルPET等	全重量の60%	2030年	アサヒ飲料「容器包装2030」, https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/package2030/
		アサヒグループホールディングス株式会社	プラスチック容器：PETボトル、プラスチックボトル、PETボトル・プラスチックボトルに使用するキャップ、一部プラスチック容器、プラスチックカップ（販売用）等	バイオマス素材（バイオマスプラスチックを含む）、リサイクル素材等の環境配慮素材	100%を目指して検討を開始	2030年	アサヒグループ「3R+Innovation」, https://www.asahigroup-holdings.com/csr/environment/products.html
	株式会社伊藤園	ペットボトル	リサイクル素材等（バイオマスプラスチック等の生物由来素材を含む）	使用割合：100%	2030年	伊藤園グループ「中長期環境目標」, https://www.itoen.co.jp/csr/system/	
		「お〜いお茶」ティーバッグ	生分解性バイオマスプラスチック（PLA）	フィルターに採用	2021年をめど ※「お〜いお茶 緑茶」ティーバッグについては、PLAを採用したものを2020年4月13日より販売中	伊藤園プレスリリース「日本初となる植物由来の生分解性フィルターを『お〜いお茶 緑茶』ティーバッグに採用」 (2020年3月10日), https://www.itoen.co.jp/news/detail/id=25492	
	九星飲料工業株式会社 (販売子会社：株式会社スターナイン)	清涼飲料製品	植物由来の環境に配慮した素材（バイオマスプラスチックを含む）、リサイクル素材等	導入に向けた検討及び調査を進めていく	—	九星飲料工業HP, https://www.kyusei.co.jp/	
	キリンホールディングス株式会社	飲料用容器包装	バイオPET、バイオPE等	持続可能な容器包装（バイオマスやリサイクル材等）100% ※「バイオマス」にはバイオマスプラスチックを含む	2050年	キリングループ「環境ビジョン2050」, https://www.kirinholdings.co.jp/news/2020/0210_01.html キリングループ「環境報告書2020」 (P.10・46), https://www.kirinholdings.co.jp/csv/report/env/pdf/environmental2020.pdf	
		PETボトル	バイオPET（非可食原料の利用）	導入の検討を進めていく	—	キリングループ「プラスチックポリシー」, https://www.kirinholdings.co.jp/news/2019/0207_01.html	

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL
製造業	サッポロホールディングス株式会社	容器包装	再生可能材料 ※バイオプラスチックを含む	再生可能材料の利用を拡大し、容器包装材料の枯渇性資源依存を低減（中期ビジョン） ※再生可能原料には、バイオプラスチックを含む	—	サッポログループ「容器包装ビジョン」, https://www.sapporoholdings.jp/csr/earth/3r/container/
			循環型社会に対応した容器包装（従来からリサイクル、リユースできる容器包装として継続的に使用している缶・びん・樽などに加えて、再生PET樹脂、生分解性プラスチック、バイオマス素材の利用、FSC®森林認証紙等） ※バイオマス素材にはバイオプラスチックを含む ※素材の選定は、使用・廃棄状況等に応じて適宜検討する	100%（長期ビジョン）	2050年	サッポログループ「容器包装ビジョン」, https://www.sapporoholdings.jp/csr/earth/3r/container/
			グローバルで使用するすべてのペットボトル	リサイクル素材あるいは植物由来素材（バイオマスプラスチック等）	100%	2030年
	日本コカ・コーラ株式会社	ペットボトル（全製品）	サステナブル素材（リサイクルPET樹脂や植物由来PET樹脂）	すべての製品のPETボトルに、リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂を使用	2025年	日本コカ・コーラ「サステナビリティレポート 2020」, https://www.cocacola.co.jp/sustainability
				すべてのPETボトルを100%切り替え（植物由来PET樹脂10%、「ボトルtoボトル」90%）	2030年	
	食品	カゴメ株式会社	紙容器飲料のストロー	資源循環可能な素材（バイオプラスチック等の植物由来素材や紙素材）	100%	2030年
カルビー株式会社		食品包材	バイオPE、バイオPET等の植物由来原料、及びリサイクル原料 ※現在商業ベースに乗っていないバイオPP等も将来的に採用することを検討予定	化石資源からあらたに作られるプラスチックを使用した包装容器を50%削減（2018年比）	2030年 ※2020年度には「CHIPS NEXT」という製品に紙包材を、「とうもろこ」「えだまりこ」という製品にバイオPETを採用済	カルビー「プラスチック資源循環の推進目標」, https://www.calbee.co.jp/newsrelease/200910.php

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	食品	株式会社J-オイルミルズ	容器包装 ※2018年度に発売した「から揚げの日の油」は保存性を高めた蒸着バリア技術を使ったパウチ容器を実現することで大幅にプラスチックの使用量を削減したほか、サトウキビの廃糖蜜由来のバイオマスプラスチックを採用し、エコマークを取得	バイオマスプラスチック、再生プラスチック、リサイクルしやすい素材等	環境配慮型の製品開発に努める	—	J-オイルミルズ「容器包装に関する指針」, https://www.j-oil.com/sustainability/environment/sustainable_resource_use/waste_reduction.html
		敷島製パン株式会社	プラスチック製容器包装	植物由来原料（バイオマスプラスチック等）および環境に配慮した原料	採用可能な製品より導入 ※弊社「&Green」シリーズの包装資材にバイオマスプラスチックを採用	—	敷島製パンHP, https://www.pasconet.co.jp/
	日清食品ホールディングス株式会社	カップヌードル容器	バイオマスプラスチック等	日本におけるカップヌードル容器を、「バイオマスECOカップ（紙、バイオマスプラスチック等）」へ全量切替え	2021年度中	日清食品プレスリリース「『カップヌードル』は『バイオマスECOカップ』で業界初のバイオマス度80%以上を実現～2019年から順次切り替え、2021年全量切り替え完了～」(2019年6月11日), https://www.nissin.com/jp/news/7874	
	明治ホールディングス株式会社	プラスチック容器包装、製品に貼付しているストロー等	バイオマスプラスチック、再生プラスチック	使用拡大を推進 ※具体的な取組例 ・製品に貼付しているストロー（年間約6億本）にバイオマスプラスチックを配合 ・明治「ザバス」プラスチックカップにバイオマスプラスチックを10%配合	2020年度後半から順次バイオマスプラスチックを配合していく	明治プレスリリース「株式会社 明治 プラスチック資源循環の取り組みを強化 2030年度までに、プラスチック容器包装を25%以上（2017年度比）削減へ」(2020年5月19日), https://www.meiji.co.jp/corporate/pressrelease/2020/0519_02/	
	森永乳業株式会社	プラスチック製容器包装（カップ、軟包装）	バイオマスプラスチック、再生プラスチック	利用拡大 ※現在検討中であるが、確定ではない	—	森永乳業「サステナビリティレポート2019」, https://www.morinagamilk.co.jp/csr/pdf/2019/mn_sus2019_10.pdf	
	株式会社ヤクルト本社	プラスチック製容器包装	資源循環しやすい素材（バイオマスプラスチックを含むバイオマス素材、リサイクル素材等）	転換に着手 最大限の転換	2025年 2030年	ヤクルトグループ「プラスチック資源循環アクション宣言」, https://www.yakult.co.jp/information/article.php?num=237	
	トイレットリー・化粧品	株式会社アルビオン	「アルビオン」を代表とする取り扱い各ブランド商品の容器	バイオマスプラスチック、リサイクル材等の環境材料	今後の全新製品で環境対応	2021年～	アルビオンHP, https://www.albion.co.jp/
		花王株式会社	包装容器	バイオマスプラスチック	使用量3倍	2025年	花王「花王サステナビリティ データブック2020」, https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/klp-pr-2020-all.pdf

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	トイレットリー・化粧品	株式会社コーセー	プラスチック容器包装 ※具体例： スキンケア商品（「雪肌精クリアウェルネス」シリーズ）にバイオマスプラスチックを導入済み	バイオマスプラスチック及び再生プラスチック	50%	2030年	コーセー「コーセーサステナビリティプラン」, https://www.kose.co.jp/company/ja/content/uploads/2020/04/kose_sustainability_plan20200430.pdf
		株式会社資生堂	プラスチック製容器包装	サステナブルな容器包装（バイオプラスチック等の植物由来素材、再生素材等）	導入推進を検討 ※容器包装に関し独自のポリシーの5Rsを定め、Replaceとしてバージン・プラスチック素材の一部を転換していく	2025年	資生堂「サステナビリティレポート2019」, https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/pdf/2019.pdf
		ライオン株式会社	プラスチック製品・容器包装全般	バイオPE、バイオPET、植物由来原料等	使用量倍増（対2017年、絶対量）	2030年	ライオン「LION Eco Challenge 2050」, https://www.lion.co.jp/ja/csr/env/ecochallenge2050/
	日用品	ユニ・チャーム株式会社	プラスチック製包装容器・包装材料	環境配慮型素材（バイオプラスチック等、植物由来等の再生可能な有機性資源を活用）	50%	2030年	ユニ・チャームグループ「環境目標2030」, http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/environment/management/index.html ユニ・チャームグループ中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」, http://www.unicharm.co.jp/csr-eco/kyoseilifevision/index.html
	医薬品	大塚ホールディングス株式会社	消費者商品の全製品 ※大塚グループが使用している消費者向け製品のプラスチック製容器包装等のほとんどを飲料用PETボトルが占めている	植物由来原料（バイオマスプラスチックを含む）・リサイクル原料等	使用推進	2050年	大塚グループ「プラスチックステートメント」, https://www.otsuka.com/jp/csr/environment/plastic.html
			PETボトル（グローバル）	植物由来原料（バイオマスプラスチック等）およびリサイクル原料	50%以上	2030年	
	プラスチック製品	株式会社アサクラ	包装資材全般	バイオPE、リサイクルPET等	100トン/年	2025年	アサクラHP, http://www.asakura-inc.co.jp/
		川上産業株式会社	「バイオプチ」（気泡緩衝材）	バイオPE	バイオマスプラスチック配合率50%以上 ※現「バイオプチ」は、バイオマスプラスチック配合率15%	2030年	川上産業HP, http://www.putiputi.co.jp/
			「グリーンプチ（R）」（気泡緩衝材） ※農業用、建材用のうち適正な場面で生分解処理が実施される用途に導入	生分解性バイオマスプラスチック ※陸・海洋どちらの環境においても生分解する製品の開発を目標とする	100%	2030年	

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	プラスチック製品	関西化学工業株式会社	「エコカインドフィルム」 (インフレーション製膜法ポリエチレンフィルム)	バイオPE	拡販継続	—	関西化学工業HP「植物由来ポリエチレン配合フィルムのご紹介」, http://www.kansaikagaku.co.jp/product/product7.html
		株式会社キラックス	バイオマス系海洋生分解性袋 (フィルム)	海洋生分解性バイオマスプラスチック	海洋生分解性でありながら、実用的な物性を持つ袋(フィルム)の開発・生産	2025年	キラックスHP「商品開発部」, https://www.kiracs.co.jp/division/development.html
		シーピー化成株式会社	「CP Bio」シリーズ (バイオマスプラスチックを含有したプラスチック食品容器)	バイオPE(+PS+PP)、バイオA-PET	500アイテム以上まで拡大	2023年	シーピー化成HP, https://www.cpkasei.co.jp/
		住化積水フィルム株式会社	農業用マルチングフィルム 「野土加®」 ※農業用マルチングフィルムは作物の品質や生産収量を高めるために必須のポリフィルムで数多く利用されている。通常は使用後は回収を必要とするが、「野土加®」は生分解性があるため、使用后畑に鋤き込むことにより土中で分解され撤去作業の省力化につながる環境負荷の小さい製品である	生分解性プラスチック	農業用マルチングフィルム販売量のうち1,000トン/年を「野土加®」に置き換える	2030年	住化積水フィルムHP「野土加®」, https://www.ss-film.co.jp/products/agriculture/nou_poly-multi/nodoka/
			商品包装用バイオマスシュリンクフィルム ※バイオマスプラスチックを30%含有するバイオマスゴミ袋も一部自治体向けに販売中	バイオマスプラスチック	バイオマスプラスチック成分5%以上	2021年度以上	住化積水フィルムHP, https://www.ss-film.co.jp/
		株式会社精工	「グリーンOPP」、農産パッケージ用防曇フィルム	PP+バイオPE	販売量の30%	2030年	精工HP, http://www.seikou-web.com
		東名化学工業株式会社	食品包装容器、非食品包装容器	バイオPET、バイオPE	PET: 1,256トン/年の20%をバイオマス化 PE: 390トン/年の3%をバイオマス化	2022年	東名化学工業HP, http://www.tomei-c.co.jp/
		日生化学株式会社	冠婚葬祭用発泡PEバッグ、軟包装ラミネート用発泡シーラントフィルム	バイオPE	販売量拡大	2020年以降	日生化学HP, http://www.nissei-grp.com/
		VASUジャパン株式会社	歯ブラシ、食品トレー、買物袋(レジ袋)等 園芸用品等	バイオマスプラスチック 生分解性プラスチック	合計で500トン/年を日本市場に導入	2021年	VASUジャパンHP, https://www.vasu.tokyo
		丸真化学工業株式会社	包装用資材	バイオPE、リサイクルPET等	トータルで30%	2030年	丸真化学工業HP, https://www.marushinkagaku.co.jp/

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	プラスチック製品	ヤマトエスロン株式会社	食品容器包装、日用品等	バイオPE、バイオPET等	1,000トン/年（化石資源由来プラスチックにバイオマスプラスチックを添加）	2030年 ※実際に製品化しており、今後も製品開発を行っていく	ヤマトエスロンHP「環境対応」, http://www.yamato-esulon.co.jp/environment/environment01.html
		株式会社吉川国工業所	日用品雑貨（「like-it ラウンドバスケット」2種類、「like-it タウンバスケット」2種類等）	バイオPE	・「like-it ラウンドバスケット」2種類、「like-it タウンバスケット」2種類：バイオマスプラスチック配合率90% ・その他の製品：バイオマスプラスチック配合率30%	2025年頃	吉川国工業所HP, http://www.yoshikawakuni.co.jp/
	紙・バルブ	東罐興業株式会社	食品用容器	バイオPE、バイオPET	再生材・植物由来樹脂の利用率を30%向上（バイオマスプラスチックについての導入目標は今後設定予定）	2030年	東洋製罐グループ「Eco Action Plan 2030」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/ 東罐興業HP「CSR」, https://www.tokan.co.jp/csr/
			食品容器（「バイオニュート」、「エコア」、「ニュートデリカ」、「バイオデリカ」、「バイオカップ」、「バイオHIPS」シリーズ）	PLA、バイオPET、バイオPE、バイオHIPS ※PLA製容器については、環境経済を実現する炭素資源利用フローの構築（生分解性を活用：堆肥化・バイオガス化）を目指す	バイオ製品アイテム拡大（2019年3月 1,800アイテム → 2021年3月 2,400アイテムへ）	2021年3月	リスパックHP, http://www.risupack.co.jp
	金属製品	東洋製罐株式会社	PETボトル	環境配慮PET（バイオマスプラスチック、リサイクル材）	利用率を30%向上 ※大半はリサイクル材を導入予定 ※ブリフォーム・ボトルにおいてバイオマスプラスチックの使用実績有（2020年現在）	2030年	東洋製罐グループ「Eco Action Plan 2030」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/ 東洋製罐HP「環境サイト」, https://www.toyo-seikan.co.jp/eco/
			プラスチック製品	バイオマスプラスチック・再生材	利用率を30%向上	2030年	東洋製罐グループ「Eco Action Plan 2030」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/
			再生可能材料（バイオマスプラスチックを含む）や再生材	新規投入資源の使用量を最大限に削減し、再生材や再生可能材料への代替に努める	2050年	東洋製罐グループ「2050年長期目標」, https://www.tskg-hd.com/csr/environment/global/global01/	

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
製造業	印刷	大日本印刷株式会社	容器包装等	バイオPE、バイオPET	2020年度 CO ₂ 削減量：5,000トン以上 (DNPが開発した「DNP植物由来包材 バイオマテック®」によるCO ₂ 削減効果を算定した結果、化石資源由来の包材を使用した場合と比べ、2018年度で約2,500トン、2019年度で約3,000トンに相当する) ※脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて、製品・サービスを通じたCO ₂ の削減を進める。 また、バリューチェーン全体で資源を効率的に利用し循環させることで、最大限の価値を提供する	2050年	大日本印刷HP, https://www.dnp.co.jp/
	繊維	株式会社グリーンコップ	森林保護商品(樹皮はぎ防止ネット、苗木カバー)	バイオマスプラスチック(バイオPE)または生分解性プラスチック	導入量100%(バイオマスプラスチックの場合、バイオマスプラスチック配合率は90%以上を目指す)	2030年	グリーンコップHP「森林保護商品」, https://green-cop.com/?page_id=444
		グンゼ株式会社	食品包装用フィルム	植物由来原料(バイオマスプラスチック等)	製品開発を行い、化石資源の使用量削減に貢献する	—	グンゼ「プラスチック資源循環基本方針」, https://www.gunze.co.jp/csr/report/for_environment/
		大嘉産業株式会社	スポーツ用人工芝「バイオターフ」、袋型根固め工法用袋材「バイオエコサンクネット」	バイオPE(スポーツ用人工芝)、バイオPET(袋型根固め工法用袋材)	バイオ原系(バイオ含有率30%)使用量1,000トン/年、CO ₂ 削減目標587トン/年	2025年	大嘉産業HP, http://www.daika.co.jp/
		百々株式会社	帽子のつば芯と帽子に関わる樹脂製付属パーツ	バイオマスプラスチック、リサイクルプラスチック等	年間100万個分の帽子のつば芯のうち50%を、バイオマスプラスチック(配合率30%)+リサイクルプラスチック(配合率70%)へ移行	2025年	百々HP, https://www.dodo-boushi.com/
	化学工業	住友ベークライト株式会社	医薬品包装(PTP包装) ※バイオPEを約20%配合した食品包装用多層フィルムも2020年上市済	バイオPE	バイオマスプラスチック配合率50%	2022年頃	住友ベークライトHP, https://www.sumibe.co.jp/

業種	企業名	対象製品・用途	導入する素材	目標水準	目標時期	参考URL	
飲食サービス業	飲食店	株式会社モスフードサービス	「モスバーガー」で使用するテイクアウト用品等	バイオマスプラスチック全般	バイオマスプラスチックを含む環境配慮型素材の導入率70%	2030年 モスフードサービスHP, https://www.mos.co.jp/company/	
	配達飲食サービス	ワタミ株式会社	ワタミの宅食 冷凍総菜・弁当用の容器 ※冷蔵総菜・弁当用の容器は2019年10月よりバイオマスプラスチック配合率10%のものを利用	バイオPE	バイオマスプラスチック配合率10%	2024年 ワタミ 月刊「宅食らいふ」2020年1月号「私たちが容器変更に取り組む理由。」, https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/media.watami-takushoku.co.jp/pdf/info/tl191223.pdf	
卸売業、小売業	小売業	イオン株式会社	プライベートブランド商品	環境・社会に配慮した素材(バイオマスプラスチック等の植物由来素材を含む)	すべてのプライベートブランド商品に導入	2030年 イオンHP, https://www.aeon.info/	
		株式会社セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイグループ事業会社(イトーヨーカ堂、ヨークベニマル、ヨーク)の買物袋(レジ袋)	バイオPE	バイオマス比率30%	—	セブン&アイ・ホールディングスHP「環境に配慮した容器・包装の導入」, https://www.7andi.com/csr/theme/theme3/invention.html
			セブン-イレブンオリジナルおにぎりの包装	バイオマスプラスチック	—	—	
			セブン-イレブンオリジナルのサラダ用カップ	バイオPET	—	—	
			オリジナル商品で使用する容器	環境配慮型素材(バイオマス・生分解性・プラスチック・リサイクル素材・紙、等)	50%使用	2030年	
		※素材の選定は、使用・廃棄状況等に応じて適宜検討する	100%使用	2050年			
	株式会社ファミリーマート	オリジナル商品の容器・包材等	環境配慮型素材(植物を原料にしたバイオマスプラスチックや再生PET等)	60%	2030年	ファミリーマート「ファミマecoビジョン2050」, https://www.family.co.jp/sustainability/ecovision.html	
				100%	2050年		
		プライベートブランドの中食容器	バイオPE、バイオPET	①幅広い品目への展開 ②バイオマスプラスチック配合率の向上	—	ファミリーマートHP, https://www.family.co.jp/	
	株式会社ローソン	オリジナル商品の容器包装	環境配慮型素材(バイオマスプラスチックを含む)	バイオPP	バイオPPを導入した国内初の容器の展開	2021年春～	ローソンHP「SDGs推進に向けた取り組み」, https://www.lawson.co.jp/company/activity/sdgs/
50%				2030年			
			100%	2050年			
卸売業	全国農業協同組合連合会	農業用マルチフィルム等	生分解性プラスチック	本会取り扱いマルチフィルムの15%	2030年 全国農業協同組合連合会HP, http://www.zennoh.or.jp		

②バイオプラスチック（素材）製造・販売目標

業種	企業名	製造または販売する素材	目標標準	目標時期	利用可能な製品・用途	参考URL
製造業	化学工業 伊藤製油株式会社	ヒマシ油由来原料（バイオPUフォーム等の中間原料）	従来化石資源由来製品を使用してきた分野に対しての新規採用	—	バイオPUフォームの用途例：寝具、家具、緩衝材等	伊藤製油HP, https://www.itoh-oilchem.co.jp/
		※ヒマシ油由来原料は、その他にも以下のような用途に利用される 塗料、インキ、接着剤、封止材、切削加工油剤、化粧品				
	株式会社カネカ	「カネカ生分解性ポリマーPHBH」	生産能力：100,000～200,000トン／年	2030年	プラスチック製容器包装・製品（食品容器・包装、カトラリー、ごみ袋）	カネカHP「生分解性ポリマー」, https://www.kaneka.co.jp/business/material/nbd_001.html
	株式会社クラレ	変性デンプンを主原料とするガスバリア材「PLANTIC™」	初年度200トン／年（多層積層シート内の「PLANTIC™」層部分の重量） ※PET/PLANTIC™/PET構成の多層ガスバリアシートとして販売	2021年	ガス置換包装用食品トレー	クラレHP「PLANTIC」, https://www.kuraray.co.jp/products/plantic
		バイオマス由来原料を用いた水素添加ステレン系熱可塑性エラストマー	200トン／年	2026年	日用品、靴等 ※ゴム改質剤・粘接着剤としても利用可能	クラレHP「セプトンBIO-シリーズ」, https://www.elastomer.kuraray.com/ja/septon/specialproductlines/new-styrenic-elastomer-jp/
	株式会社ダイセル	「酢酸セルロース」、高生分解性酢酸セルロース「CAFBLO™」	10,000～20,000トン／年 ※「酢酸セルロース」、高生分解性酢酸セルロース「CAFBLO™」、酢酸セルロース真球微粒子「BELLOCEA®」の合計	2025年	飲食品容器、農漁業用品、文房具、玩具、繊維、包材等	ダイセルHP「酢酸セルロース」, https://www.daicel.com/cell_ac/index.html
酢酸セルロース真球微粒子「BELLOCEA®」		※人と環境に優しい酢酸セルロースでサステナブル（持続可能）な社会の実現に貢献する		化粧品用微粒子		
ダイセル・エボニック株式会社	ポリアミド610「ベスタミドTerra HS」、 「ダイアミドTerra HS」 ポリアミド1010「ベスタミドTerra DS」、 「ダイアミドTerra DS」 ポリアミド1012「ベスタミドTerra DD」、 「ダイアミドTerra DD」	バイオマスプラスチックの売上比率を高めていく	随時	食品容器包装、自動車、スポーツ用品、その他	ダイセル・エボニックHP, https://www.daicel-evonik.com/	

業種	企業名	製造または販売する素材	目標水準	目標時期	利用可能な製品・用途	参考URL
製造業	化学工業	トタルコービオンPLA b.v.	PLA 製造能力：175,000トン／年 ※現有製造能力75,000トン／年（グローバルに供給中） ※フランスに100,000トン／年の新工場を準備中	2024年中	包装容器、衣料、カード、フィルム、バッグ、文具等 ※バイオマス及び生分解の両視点に対応	Total Corbion PLA HP, https://www.total-corbion.com Total Corbion PLA プレスリリース「Total Corbion PLA announces the first world-scale PLA plant in Europe」（2020年9月24日）, https://www.total-corbion.com/news/total-corbion-pla-announces-the-first-world-scale-pla-plant-in-europe/
		住友ベークライト株式会社	リグニン変性フェノール樹脂	将来的にはフェノール樹脂製品の5%を置き換える	量産技術を確立しており、サンブルワークにて採用に至れば量産に入る予定（数トン／月でも商用化可能）	フェノール樹脂製品、自動車用途、産業用資材等
	株式会社ベルポリエステルプロダクツ	バイオ共重合PET ※従来普及しているバイオPETではなく、PET樹脂を変性し、透明性・意匠性・耐薬品性を重視した共重合PETを一部バイオマス化	300トン／年以上 ※最終的に1,000トン/年以上を目指す	2021年 ※上市済にて顧客ワーク展開中	化粧品容器、食品容器包装等	ベルポリエステルプロダクツHP, http://www.bellpet.co.jp
	三井化学株式会社	バイオPP バイオマス由来イソシアネート「スタビオ®」（バイオPU原料）	生産量：100,000トン／年 1,000トン／年の販売	2030年 2025年	ポリオレフィン系製品・用途全般 バイオPUの用途：自動車用塗料、建築用塗料、接着剤、成形材料等	三井化学「三井化学レポート2019」, https://jp.mitsuichemicals.com/jp/ir/library/ar/pdf/ar19_all_jp.pdf?1910171500 三井化学HP「スタビオ®」, https://jp.mitsuichemicals.com/sites/default/files/media/document/2018/180523_data09.pdf

業種	企業名	製造または販売する素材	目標水準	目標時期	利用可能な製品・用途	参考URL		
製造業	化学工業	三菱ケミカル株式会社	「GOHSENL™ (ゴーセノール™)」、「GOHSENX™ (ゴーセネックス™)」、「Nichigo G-Polymer™ (ニチゴ-Gポリマー™)」	製造能力：約10,000トン/年	2030年	フィルム、繊維、PVF、PVB、水溶性成形物、中子・外子 ※その他の用途は以下のとおり 接着・バインダー：接着剤、建築土木、無機バインダー、合成皮革、育苗培土、農薬粒剤 紙加工：表面塗工、特殊紙 懸濁剤：塩ビ懸濁重合用分散剤 乳化剤：酢酸ビニル、アクリルエマルシヨンの乳化重合用乳化剤	三菱ケミカルHP「ゴーセノール™、ゴーセネックス™」, https://www.gohsenol.com/doc/outl/outl_01.shtml 三菱ケミカルHP「ニチゴ-Gポリマー™」, https://www.g-polymer.com/jpn/	
			「DURABIO™ (デュラビオ™)」	製造能力：数万トン/年	2030年	電子機器の筐体、自動車の内外装材、化粧品容器、遮音壁、建材、光学・エネルギー関連部材、高機能ガラスの代替部材	三菱ケミカルHP「DURABIO™」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/sustainable/product/1200363_7166.html	
			「BioPBS™」, 「FORZEAS™ (フォゼアス™)」 (「FORZEAS™」は「BioPBS™」をベースにした生分解性樹脂コンパウンド)	製造能力：数十万トン/年	2030年	食器、容器、食品トレー、カトラリー、紙コップ、ストロー、コーヒーカプセル、植木鉢、花瓶、紙コップ用リッド、梱包材、シヨッピングバッグ、買物袋(レジ袋)、コンポスト袋、各種包装材、包装用ジッパー、繊維、農業用マルチフィルム	三菱ケミカルHP「BioPBS™ (バイオPBS)」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/sustainable/product/1200364_7166.html	
			※生分解性プラスチック(PVA)					
			※バイオマス由来のエンジニアリングプラスチック					
			「BioPBS™」, 「FORZEAS™ (フォゼアス™)」 (「FORZEAS™」は「BioPBS™」をベースにした生分解性樹脂コンパウンド)	製造能力：数十万トン/年	2030年	食器、容器、食品トレー、カトラリー、紙コップ、ストロー、コーヒーカプセル、植木鉢、花瓶、紙コップ用リッド、梱包材、シヨッピングバッグ、買物袋(レジ袋)、コンポスト袋、各種包装材、包装用ジッパー、繊維、農業用マルチフィルム	三菱ケミカルHP「BioPBS™ (バイオPBS)」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/sustainable/product/1200364_7166.html	
			※バイオマス由来かつ生分解性のプラスチック					
			バイオポリカーボネートジオール(PU樹脂、アクリル系樹脂、ポリエステル系樹脂等の中間原料)	製造能力：10,000トン/年	2030年	・PU樹脂： 人工皮革・合成皮革、水系ウレタン、ポリウレタンエラストマー ※その他の用途は以下のとおり 塗料・コーティング剤、接着剤・シーラント ・アクリル系樹脂： ウレタンアクリレート樹脂、ジアクリレート樹脂 ・ポリエステル系樹脂： ポリエステルエラストマー(TPEE)	三菱ケミカルHP「BENEBIOL™ベネビオール(PCD)」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/c4/product/1200297_7124.html	
			※上市済					
			バイオポリテトラメチレンエーテルグリコール(バイオPTMG)(バイオPU、ポリエステルエラストマーの中間原料)	上市	2025年度頃	・PU：スパンデックス、熱可塑性/硬化性エラストマー、人工・合成皮革 ※その他の用途は以下のとおり 塗料・コーティング剤、接着剤等 ・ポリエステルエラストマー： チューブ、ホース、自動車用部品、電気部品、ベングリップ等	三菱ケミカルHP「ポリテトラメチレンエーテルグリコール/PTMG」, https://www.m-chemical.co.jp/products/departments/mcc/c4/product/1200296_7124.html	

業種	企業名	製造または販売する素材	目標水準	目標時期	利用可能な製品・用途	参考URL	
製造業	繊維	東洋紡株式会社	バイオPET、バイオPE、バイオPP、バイオPA、PEF等	パッケージ用素材は全量、リニューアブルなものに置換予定（バイオマスプラスチック、リサイクル材料等） ※現在1,000トン/年程度の販売量	2050年	容器包装（食品用、一般用）	東洋紡HP「パッケージ事業統括部」, https://www.toyobo.co.jp/seihin/film/package/
		東レ株式会社	100%バイオポリエステル繊維	10,000トン/年	2020年代での量産化目標	自動車内装材、スポーツ衣料、ユニフォーム等	東レHP「特集記事：明日につながる繊維－石油ではなくサトウキビから環境に優しいポリエステルを」, https://www.toray.co.jp/sustainability/visio/articles/vol02.html
		ユニチカ株式会社	バイオマスプラスチック（PLA等）の繊維、不織布、成形用樹脂	生産量倍増	2030年	繊維（用途：ティーバッグ、浴用タオルなど）、不織布（用途：土木用資材など）、成形用樹脂（用途：ストロー、カトラリーなど）、その他	一般社団法人日本経済団体連合会「SDGsに資するプラスチック関連取組事例集」, https://www.keidanren.or.jp/policy/2018/099_jirei.pdf
	紙・パルプ	王子ホールディングス株式会社	バイオPE（非可食原料の利用）、PLA（非可食原料の利用）	バイオPE（非可食原料の利用）： 30,000～60,000トン/年 PLA（非可食原料の利用）： 2,000トン/年	2025～2030年の事業化を目指す	既存のバイオマスプラスチック（可食バイオマス由来）の代替	王子ホールディングスプレスリリース「パルプを原料とした国産プラスチック製造検討について～環境省の委託事業に採択～」(2019年10月21日), https://www.ojiholdings.co.jp/Portals/0/resources/content/files/news/2019/7Gd3yKr.pdf
卸売業、小売業	卸売業	豊田通商株式会社	バイオPE（輸入）	日本向け輸入数量増加 ※日本向けの数量増及び生産能力増強・増設を製造メーカーと協議中	2021年度	食品容器包装、買物袋（レジ袋）、ごみ袋、日常生活用品、玩具等	豊田通商HP, https://www.toyota-tsusho.com/

※本目標集は、バイオプラスチック導入ロードマップの方針に基づき、企業のバイオプラスチック導入に関する目標を掲載している

用語集：	バイオPA	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリアミドの略称。
	バイオPE	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリエチレンの略称。
	バイオPET	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリエチレンテレフタレート（PET）の略称。一部企業では、「植物由来PET」と表現されている。
	バイオPP	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリプロピレンの略称。
	バイオPU	原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリウレタンの略称。
	PA	ポリアミド（別名ナイロン）の略称。
	PBS	ポリブチレンサクシネートの略称。
	PE	ポリエチレンの略称。
	PEF	ポリエチレンフラーエートの略称。
	PET	ポリエチレンテレフタレートの略称。
	PHBH	ポリ（3-ヒドロキシブチレート-3-ヒドロキシヘキサノエート）の略称。
	PLA	ポリ乳酸の略称。
	PP	ポリプロピレンの略称。
	PS	ポリスチレンの略称。
	PU	ポリウレタンの略称。
	PVA	ポリビニルアルコールの略称。